

保育交流

3年生保育コース（11名）が、下表の日程で、地域の保育園、幼稚園に出かけました。昨年度から本校が取り組む、「専門高校生地域連携推進事業」のプロジェクトの1つとして行っている、地域の特産物「蕎麦」を広めるための活動で、そばに関する大型絵本を製作しました。そばの歌と合わせて、子どもたちの前で披露しました。

絵本の読み聞かせの後は、年齢ごとに分かれて、生徒が考えた遊びや、園での遊びを一緒に行いました。子ども達の声や反応に、どう答えてよいのか戸惑う場面もありましたが、保育士の先生方に助けていただきながら、楽しく活動することができました。

地域の良さを広めると共に、授業での学びを実践する良い機会となりました。今後も地域と繋がる活動を、積極的に行っていきたいと思います。

日程	場所
6月20日（火）	山口幼稚園
6月23日（金）	坂下保育園
6月30日（金）	川上保育園



製作した大型絵本



【交流の様子】



初めて見る大きな絵本。皆静かに聞いてくれました。



好きな物をクイズにして自己紹介！元気に答えてくれました☆





普段、園で行っている遊びを教えてくださいました。

子ども達も大好きなじゃんけん列車☆
緊張していた様子のみみんなが笑顔になります。



子ども達が、遊んでくれたお礼に、ダンスを見せしてくれました☆



【生徒の感想】

- 最後に子どもたちがダンスを踊ってくれてとても嬉しかったし、そばの歌も皆が練習してくれていたと聞いてとても嬉しかったです。また皆で遊びたいです。
- 年少さんと一緒に砂遊びをしました。私自身も久しぶりに砂遊びをしてすごく、楽しかったです。子どもたちが時間と共に慣れてきて、手を繋いだり、話をしてくれたり、とても嬉しかったです。
- 子どもと関わる中で、「グルグルまわして」などと言われたときは、腕は大丈夫かな？やってもいいのかな？などという疑問が生まれました。少人数だったからこそ、子どもだけではなく、保育士さんの動きもしっかりと見ることができ、学ぶことができました。
- 大型絵本の中で、歌っている時に手拍子をしてくれたり、体を揺らしている子もいて嬉しかったです。
- 遊びもけがなく、笑顔が絶えることなく、楽しむことができました。子ども1人1人に個性があり、保育士の方はまとめて見えて、対応の仕方が上手で勉強になりました。
- 「ありがとう」や「またきてね」という言葉を沢山もらい、本当に嬉しかったです。
- 説明の仕方が不十分で、先生から質問をしてもらったりして助けをもらうことになってしまいました。子ども達はどうしたらいいの？という表情になっていました。伝える事の難しさを感じました。
- 砂場遊びで、水が流れたり形ができたり、崩れたりすることにとっても喜んでいました。年齢に合った遊びをすることは大切だと改めて感じました。

